



Yanagisawa Accounting Firm

MANAGEMENT POST

税理士法人 柳澤会計

柳澤公認会計士事務所

社会保険労務士法人 柳澤会計

〒391-0003 長野県茅野市本町西1-40

TEL:0266-72-5060 FAX:0266-72-5063

www.yanagisawakaikei.net

Vol.27-4 2016.4.6

御柱祭の振る舞い酒は、広告宣伝費？

今年、平成28年(申年)は、七年に一度十二支の寅と申の年に行なわれる、諏訪大社最大の祭り「御柱祭」が諏訪地域で開催されます。今号がお手元に到着する頃には、上社の山出しが終わり、下社の山出しが始まる頃だと思えます。

諏訪地域の方々は、御柱祭に向けての準備とともに、様々な支出をしています。今回は、御柱祭に関するお金の会計処理について解説致します。



1. 諏訪大社への奉納金、地区などへの寄付金

諏訪大社への奉納金や地区などへの寄付金は、「寄付金」となります。この寄付金については、法人税法上、一部、費用として認められないケースがあります。また、個人の御柱祭の寄付については、寄付金控除など優遇税制の対象となっておりません。

2. 新聞の特集記事への協賛金

新聞の御柱祭の特集記事に協賛金を支出した場合は、「広告宣伝費」となります。新聞などの特集記事の協賛は、それと同時に新聞紙面に協賛企業の広告が掲載されるためです。

3. 棧敷席・お宿の費用

御柱祭の際は、御柱街道沿いを中心に棧敷席やお宿設けて、見物席や休憩所の提供、お酒や食べ物の振る舞いが行われますが、この際の費用の区分は、慎重に行う必要があります。

取引先・従業員等を招くための場合

取引先や従業員やその家族を招くために設置した棧敷席やお宿の費用は、「接待交際費」となります。従業員だけを招くためであれば、「福利厚生費」という考え方もありますが、訪れる従業員が限定される可能性が高いため、「接待交際費」となります。

不特定多数への振る舞い等

企業名や商品を掲げ、不特定多数の人へ広告宣伝を見越して、設置した棧敷席やお宿、振る舞い等の費用については、「広告宣伝費」となります。

上記は、一例で個々の事情や状況によって会計処理が異なる可能性があるため、個別にご相談ください。

カレンダー

2016年4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2016年5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

< 御柱祭の日程 >

上社...山出し4/2~4/4、里曳き5/3~5/5

下社...山出し4/8~4/10、里曳き5/14~5/16

平成 28 年度 税制改正 法人関係

平成 28 年度の税制改正関連法案が 3 月 29 日の参議院本会議で可決され成立しました。今月号は縮減、廃止される生産性向上設備投資促進税制を取り上げます。

生産性向上設備投資促進税制の縮減・廃止

生産性向上設備投資促進税制は、企業の投資判断の前倒しを促すよう、当初の期限通り平成 28 年度に支援措置を縮減し、平成 28 年度末の適用期限到来時に廃止されます。

生産性向上設備投資促進税制とは

質の高い設備投資の促進によって事業者の生産性向上を図る観点から、「先端設備」や「生産ラインやオペレーションの改善に資する設備」を導入する際の税制措置です。A 類型と B 類型の 2 つの確認方法があり、どちらかの確認等を受けて、取得価額要件等を満たした場合に税制措置を受けられます。

税制措置の内容（平成 28 年 4 月 1 日以降）

【対象法人】青色申告をしている法人・個人

【対象設備】平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの期間内に取得等をした特定生産性向上設備等

【税制措置】特別償却または 税額控除のいずれかを選択

特別償却限度額 = 特定生産性向上設備等の取得価額の 50%相当額（建物又は構築物は 25%）

税額控除限度額 = 特定生産性向上設備等の取得価額の 4%相当額（建物又は構築物は 2%）

類型	A: 先端設備	B: 生産ラインやオペレーションの改善に資する設備
対象設備（要件）	「機械装置」及び一定の「工具」「器具備品」「建物」「建物附属設備」「ソフトウェア」のうち、下記要件を全て満たすもの ①最新モデル ②生産性向上（年平均 1%以上）	「機械装置」「工具」「器具備品」「建物」「建物附属設備」「構築物」「ソフトウェア」のうち、下記要件を満たすもの ①投資計画における投資利益率が年平均 15%以上（中小企業者等は 5%以上）
確認者	工業会等	経済産業局
その他満たすべき要件	生産等設備を構成するものであること／最低取得価額要件を満たしていること／国内への投資であること／中古資産・貸付資産でないこと、等	

A: 先端設備

設備の種類	用途又は細目
機械装置	全て
工具	ロール
器具備品	試験又は測定機器
	陳列棚及び陳列ケースのうち、冷凍機付又は冷蔵機付のもの
	冷房用又は暖房用機器
	電気冷蔵庫、電気洗濯機その他これらに類する電気又はガス機器 氷冷蔵庫及び冷蔵ストッカー（電気式のものを除く。）
建物	断熱材
	断熱窓
建物附属設備	電気設備（照明設備を含み、蓄電池電源設備を除く。）
	冷房、暖房、通風又はボイラー設備
	昇降機設備
	アーケード又は日よけ設備（ブラインドに限る。） 日射調整フィルム

B: 生産ラインやオペレーションの改善に資する設備

設備種類	用途又は細目
機械装置	全て
工具	全て
器具備品	全て（※）
建物	全て
建物附属設備	全て
構築物	全て
ソフトウェア	全て

< 中小企業者等の場合のみ対象 >

設備の種類	用途又は細目
器具備品	サーバー用の電子計算機（その電子計算機の記憶装置にサーバー用のオペレーティングシステムが書き込まれたもの及びサーバー用のオペレーティングシステムと同時に取得又は製作をされるもの）（※）
ソフトウェア	設備の稼働状況等に係る情報収集機能及び分析・指示機能を有するもの

※ 器具備品のうち、サーバー用の電子計算機については、情報通信業のうち自己の電子計算機の情報処理機能の全部又は一部の提供を行う事業を行う法人が取得又は製作をするものを除く。



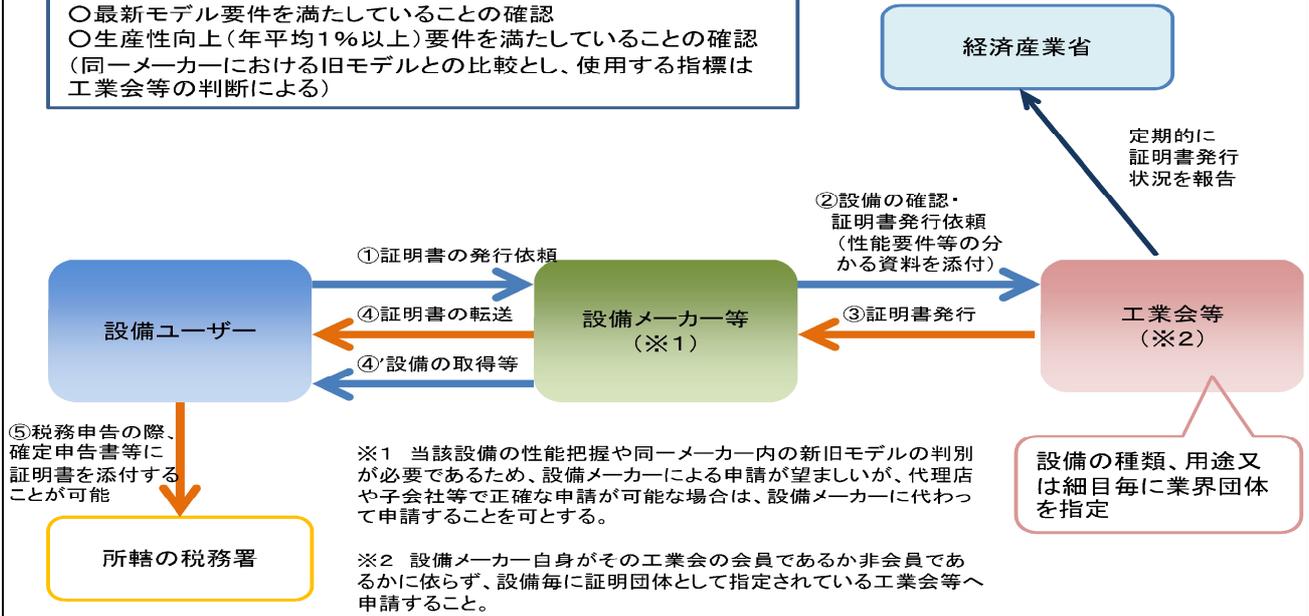
【設備の種類と最低取得価額】

設備種類	最低取得価額
機械装置	単品160万円
工具及び器具備品	単品120万円(単品30万円かつ合計120万円を含む。)
建物及び建物附属設備	単品120万円(建物附属設備については、単品60万円かつ合計120万円を含む。)
ソフトウェア	単品70万円(単品30万円かつ合計70万円を含む。)

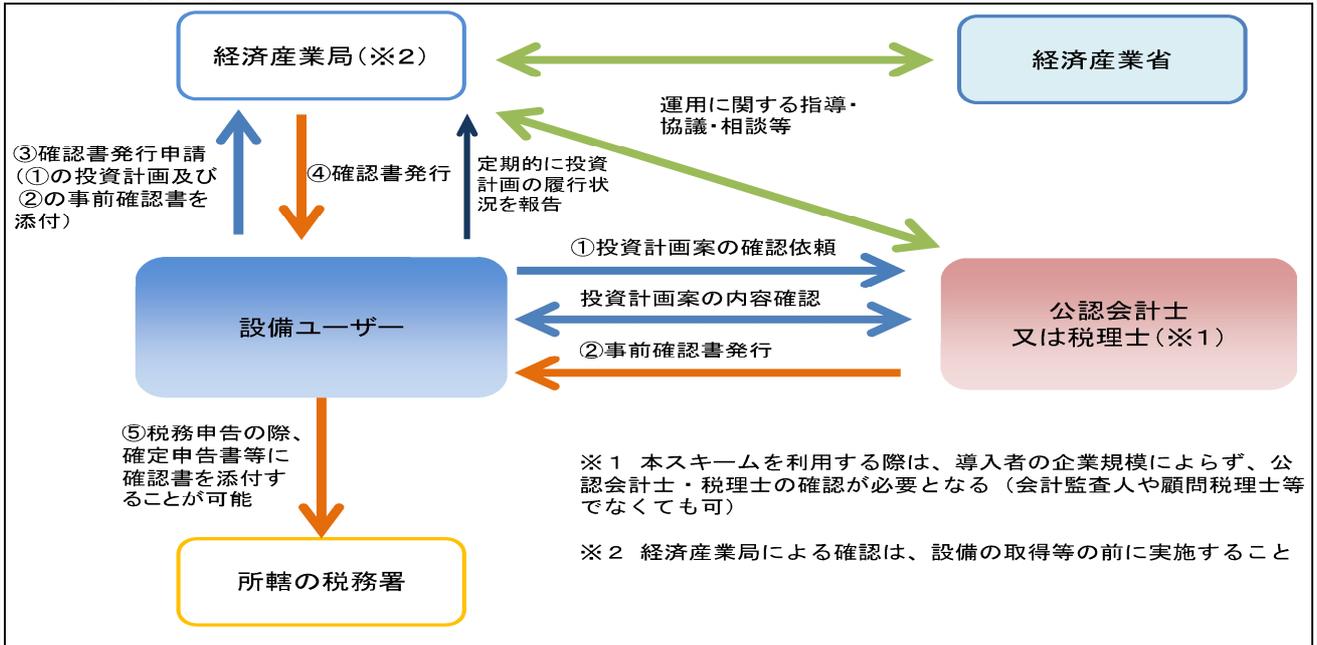
【A類型の要件確認スキーム】

<工業会等の確認内容>

- 最新モデル要件を満たしていることの確認
- 生産性向上(年平均1%以上)要件を満たしていることの確認(同一メーカーにおける旧モデルとの比較とし、使用する指標は工業会等の判断による)



【B類型の要件確認スキーム】



B類型の場合、公認会計士又は税理士による投資計画案の内容確認が必要となります。当事務所にてご支援させていただきますので、本制度検討の際はお気軽にご相談ください。(北原隆幸・原剛志)

従業員の職業生活における満足度

業種や規模を問わず、人材確保が難しくなっているといわれています。こうした状況では既存従業員に定着して働き続けてもらうことが欠かせません。ここでは、昨年11月に発表された調査結果から、従業員の職業生活の満足度に関するデータをご紹介します。

正社員の場合

項目別に従業員の職業生活の満足度割合をまとめてみると、以下の通りです。「満足」又は「やや満足」(以下、満足)とした割合をみると、「仕事の内容・やりがい」が68.1%で最高。次いで「雇用の安定性」、「正社員との人間関係、コミュニケーション」などが50%を超えました。「不満」又は「やや不満」(以下、不満)の割合をみると、「賃金」が29.7%で最も高く、次いで「人事評価・処遇のあり方」、「職場での指揮命令システムの明確性」が20%を超えました。

正社員以外の場合

満足とした割合は「仕事の内容・やりがい」が66.8%で最高でした。これは正社員と同様の傾向です。次いで「正社員以外の労働者との人間関係、コミュニケーション」「正社員との人間関係、コミュニケーション」などが50%超でした。

不満とした割合は、これも正社員と同様に「賃金」が34.2%と最も不満の高い項目となり、次いで「福利厚生」が20%を超えました。

項目別 従業員の職業生活の満足度別割合(%)

	「満足」又は「やや満足」		どちらでもない		「不満」又は「やや不満」		不明	
	正社員	正社員以外	正社員	正社員以外	正社員	正社員以外	正社員	正社員以外
仕事の内容・やりがい	68.1	66.8	21.9	23.8	9.1	8.0	0.9	1.5
賃金	45.2	39.8	24.4	24.6	29.7	34.2	0.7	1.5
労働時間・休日等の労働条件	52.7	58.5	24.1	22.9	19.3	15.4	3.9	3.1
人事評価・処遇のあり方	39.3	37.1	37.7	41.8	21.7	18.5	1.4	2.6
職場の環境(照明、空調、騒音等)	54.4	52.8	27.0	28.7	14.5	15.6	4.1	3.0
正社員との人間関係、コミュニケーション	58.5	59.2	27.6	27.1	8.5	10.9	5.4	2.8
正社員以外の労働者との人間関係、コミュニケーション	53.2	60.8	35.2	29.0	5.2	7.1	6.4	3.1
職場での指揮命令システムの明確性	44.0	45.2	29.8	31.8	20.9	19.8	5.3	3.2
雇用の安定性	65.5	42.6	25.9	35.6	5.9	17.9	2.7	3.9
福利厚生	48.9	29.8	33.7	45.2	15.3	20.9	2.2	4.0
教育訓練・能力開発のあり方	38.1	26.3	41.2	50.8	19.1	19.2	1.6	3.7
職業生活全体	52.0	42.2	33.7	40.7	12.4	13.8	1.9	3.3

厚生労働省「平成26年就業形態の多様化に関する総合実態調査の概況」より作成

職員コラム ~ 投資観 ~

北原 隆幸

金融投資をされている方の中には、できれば手っ取り早く、短期で儲かる銘柄を探してる方も少なくないと思います。これは「機会(チャンス)にお金を投じる」ということであり、投資ではなく投機に当たります。運も左右することなので、投機で儲け続けることは大変難しいことだと思います。



一方、投資は「将来価値が上がるであろう資産へお金を投じる」という意味で使われます。投機と投資では、お金を投じる相手が異なるのです。「いま儲かるもの」ではなく「将来価値が上がるもの」へお金を投じるのが「投資」です。早く儲けたい気持ちもあるかもしれませんが、「投資」をするのであれば、時間を味方につけ、長期的に考えなくてはなりません。また時間は投資において唯一最強の武器とも言われています。

普段の生活の中で読書・勉強・運動などの「自己投資」をされている方も多いと思いますが、この自己投資においても同じことが言えるかもしれません。挑戦した結果、短期で成果が出ることは多くありません。コツコツと根気よく、少しずつでも長期的に時間をかけて継続することが重要だと思います。自分にとって将来プラスになることを毎日続けたいですね。